

野洲北中生らCF

最高の合唱コンを大ホールで

合唱コンクールの開催費用を呼びかける生徒会の役員と文化体育後援会の白井会長（左端）



大規模改修のため利用できない野洲文化ホール（野洲市小篠原）の代わりに、隣の守山市にある守山市民ホールで合唱コンクールを開催しようとして、野洲北中の保護者や生徒らが開催費用をクラウドファンディング（CF）で募っている。開催にはバスの借り上げ費用などが必要で、生徒たちは「みんなが大きな舞台上で歌えるように協力してほしい」と呼びかけている。



野洲文化ホールで開催された昨年の合唱コンクール（2024年9月）＝野洲北中提供

当初は学校体育館での開催を検討したが、手狭で空調設備がないため生徒らが体調を崩す恐れがあり断念。同中と生徒が、全校生徒を収容できる近隣の守山市民ホールでの開催を計画した。

合唱コンクールでは、全学年がクラスごとに歌声を披露する。同中では毎年9月末に野洲文化ホールで開催してきたが、同ホールが4月から2年間の大規模改修に入り、使えなくなった。また、今年は国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会のため、開催が7月4日に早まった。

守山へのバス代など目標80万円

地元ホールは改修中

保護者が一部費用を負担するとともに、部活動をする生徒の保護者でつくる文化体育後援会が主体となり、CFで寄付を募ることにした。

目標金額は80万円で、上回った場合は来年開催分の運営資金として積み立てる。寄付者全員に同中の公式キャラクター「きたちゅーくん」のオリジナルクリアファイルを進呈し、4千円以上はコンクールの全クラスの演奏データ、8千円以上（先着12人）はコンクール会場の特別招待席などもプレゼントする。寄付はCFサイト「エールズ」で7月4日まで受け付けている。

生徒会長の3年山本愛斗さん（15）は「学校生活では体験できない響きのいいホールで、2カ月練習してきた最高の歌を披露したいので協力してほしい」といい、副会長の3年林柳々子さん（14）は「3年生にとつては中学最後のコンクールで、ホールで歌えるのを楽しみに入学してきた1年生もいる。開催に向けて協力してくれる人たちに感謝したい」と話す。

文化体育後援会の白井孝明会長は「保護者も毎年観覧を楽しみにしている。多感な時期の生徒たちの思いを大切に、応援したい。クラウドファンディングの取り組みが、生徒たちの成長や社会に出た時の思い出になれば」としている。（石田真由美）